

審査機関へ申請する前に…

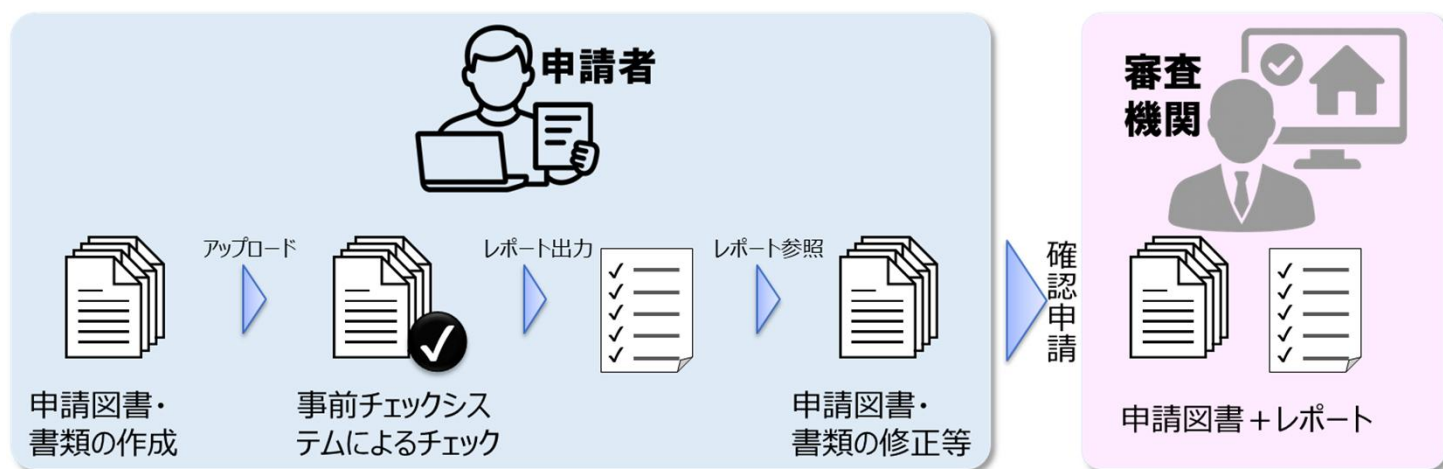
申請図書の事前チェックをお願いします

建築確認申請において不備の多い申請図書が提出されることが、建築確認の長期化の要因の一つとなっています。こうした状況を受け、一般財団法人日本建築防災協会では、国の支援を受けて、建築確認の円滑化を図るため、AIを活用した**建築確認申請図書作成支援サービス**を提供しています。

本サービスは、建築確認申請図書に記載が必要な事項のうち主要なものについて、申請予定図書に記載がされているかどうかをAIが評価し、レポートを作成するものです。

本サービスを活用し、**確認申請の前に、申請図書が適切に作成されているか自己チェック**をお願いします。

サービスを利用した建築確認申請の流れ



チェック結果のレポート（一部イメージ）

基礎の構造 AIチェック通過

基礎の構造方法（主筋D13、立上り筋D10@200等）、寸法（立上り高さ360以上等）、材料の種別（コンクリート強度30N/m²等）が記載されている。

項目の説明:

基礎の種類、寸法、構造方法及び材料の種別が記載されていること。

基礎に使用する材料の品質 要確認

コンクリート強度の記載はあるが、基礎のコンクリート及び鉄筋の品質が適合する日本産業規格または認定番号の明示的な記載が確認できない。

こちらの資料をご確認ください: [二階建ての木造一戸建て住宅\(給排水法\)等の確認申請・審査マニュアル](#) (ページ 34)

項目の説明:

建築物の基礎に使用するコンクリート及び鉄筋の品質が適合する日本産業規格又は認定番号が記載されていること。

壁に関すること AIチェック通過

壁又は筋かい AIチェック通過

軸組計算表に壁・筋かいの位置が平面図で示され、W1~W16の記号と凡例で種類(木材筋かい、構造用合板、ダイライト等)が明記されている。

項目の説明:

壁又は筋かいの位置及び種類が記載されていること。

要確認！

結果を確認して
図書を修正

- ✓ 事前にアカウントの登録が必要です
- ✓ 提供期間は2027年2月28日までの予定です

本サービスの利用はこちらから

建築確認申請図書作成支援サービス

<https://www.kenchiku-bosai.or.jp/kenchikukakunin/>